

## 競技運営規程

- 1 本大会の運営は、この運営規程による。
- 2 競技規則は、公益社団法人日本ホッケー協会 6 人制ホッケー競技規則最新版による。  
\* 令和 5 年度のスポーツ少年団・中学生（全国大会）の競技運営規程に準じて行います。
- 3 競技時間は小学生・中学生ともに前後半各 10 分、ハーフタイム 2 分とする。
- 4 競技方法
  - 小学生男子の部（19 チーム）は、参加チームを 6 グループに分け予選リーグを実施し、各グループの第 1 位および B グループ第 2 位による決勝トーナメント戦をする。
  - 小学生女子の部（15 チーム）は、参加チームを 5 グループに分け予選リーグを実施し、各グループの第 1 位による決勝トーナメント戦をする。
  - 中学生男子の部（24 チーム）は、参加チームを 8 グループに分け予選リーグを実施し、各グループの第 1 位による決勝トーナメント戦をする。
  - 中学生女子の部（19 チーム）は、参加チームを 6 グループに分け予選リーグを実施し、各グループの第 1 位および A グループの第 2 位による決勝トーナメント戦をする。
- 5 延長戦
  - ① 延長戦は行わない。
  - ② 決勝トーナメント戦において、時間内に勝敗の決しないときは、7 に定めるシュートアウト（SO）戦によって勝敗を決定する。
- 6 勝点制について

リーグ戦において、試合の結果、勝点の多いチームを上位とし、勝ちチームに 3 点、負けチームに 0 点、引き分けの場合はそれぞれ各 1 点を与えるものとする。勝点と同じ場合は、下記の事項により順位を決定する。ただし、4 チームによるグループについては、変則リーグ方式のため、アとエ（イとウは関係なし）の事項で順位を決定する。

（ア）直接対決の勝者      （イ）得失点差      （ウ）総得点      （エ）SO 戦
- 7 SO 戦による勝負の決定方法
  - ① 両チームの主将は、自チーム内よりレッドカードによる退場処分を受けている選手を除いた、出場登録済みの選手の中から 3 名の選手と 1 名のゴールキーパーを指名する。
  - ② 両チーム主将によりトスを行い、先攻後攻を決める。その後両チーム 3 名ずつの選手により交互に攻防を 1 巡行い（計 6 本）、得点の多いチームを勝者とする。たとえ 6 名の選手全員が終了していても、勝敗が決まった時点で、SO 戦を打ち切る。
  - ③ ②の方法によって勝敗が決しない時は「マッチプレー方式」すなわち両チームが同数行った中で最初にリードしたチームを勝者とする方式により、再 SO 戦を行う。この時は最初先攻のチームが後攻となり、選手はプレー不可能な者を除き、各チームは最初と同じメンバーで行う。ただし、順序は変えてもよい。
- 8 競技規則の注意点について
  - ① 小中学生の部において、肩より上のボールをスティックでプレーするハイスティックは許可する。
  - ② 小学生の部において、振りかぶって行うリバースヒットは禁止とする。
  - ③ 4 月 1 日付でホッケーファミリー未来部長他より通達のあった、6 人制ホッケー競技試験的規則における小学生を対象とした試合での取り扱いについて、PC においては残り 2 名がセンターラインの向こう側、SO は 6 秒、1.6 m ポイントから実施する。
- 9 その他
  - ① 選手の交代は、ジャッジ席側センターラインで行うこと。
  - ② 出場チームが試合開始時刻までに参集しない場合は、棄権したものとみなし、相手チームに不戦勝を与える。
  - ③ 雨天、日没等、試合続行不可能な状況の場合は、競技会場・試合開始時間の変更・試合時間の短縮等大会本部の指示に従うものとする。